

今月の担当：マイケル・ヒューズ

(ALTの原文を掲載しています)



英会話教室

《弓削》	毎週月曜日	19:30 ~	弓削地域交流センター
《生名》	毎週月曜日	9:00 ~	生名公民館
《岩城》	毎週木曜日	20:00 ~	岩城総合支所庁舎
《魚島》	毎週水曜日	19:30 ~	魚島開発総合センター

Hello everyone, This is Michael Hughes, the ALT on Iwagi.

One of the very interesting things about living in Japan is learning about all of the animals and bugs that live here. In the winter, the island seemed very quiet, but now that it is summer, there are many sounds that are not human during the day and at night.

There are many insects that do not exist in America, that are all over Iwagi. Imagine going to a new place and seeing all new insects that you have never seen before. That is what it is like for me to be on Iwagi. There are large bugs with strange colors; and even the ants (haneari) can fly! I had never seen an ant fly before, nor had I seen most of the common insects on Iwagi before coming here last summer.

But the biggest outdoor concern, anywhere, is always what animals are dangerous to humans. After I graduated college last year in May, I lived in New Mexico, USA for a month and a half. There, the dangerous animals were 'rattlesnakes' which are poisonous and very common. I always needed to watch the ground, because rattlesnakes hide in shadows and under trees. And if a rattlesnake bites, there is a chance that humans can die.

Of course on Iwagi, the dangerous animals are wild boars. They are dangerous, but from the conversations I have had with people on Iwagi, there is a very small chance that a wild boar could kill a human. This, of course, is good to know, but one must still be careful, especially because there are so many of them.

I am not from Iwagi so I do not know much about wild boars, or how to be careful of them. But with rattlesnakes in New Mexico, surprisingly, one of the best safety tools is a camera. This is because when poisonous snakes bite someone, of course venom enters the body. But there are different types of rattlesnakes, and so each type has a slightly different venom. So, in New Mexico people are told that if possible, after being bitten, they should take a picture of the snake. Then, when they get to the hospital if they show a doctor the picture, the doctor will be able to give the correct treatment.

I wonder how people on Iwagi protect themselves from wild boars? I know that wild boars and poisonous snakes are very different, but with any dangerous animals, people must be careful. When I have asked people on Iwagi what to do if I see one, people have told me to 'run away' or 'don't frighten it.' But this is only if I happen to see one. What about protecting one's garden, or one's house? Or, if a child sees a wild boar, what should he or she do? I was not raised in the countryside, so questions like these are fascinating to me. I do not think that people should worry too much about animal safety, but since I love nature and being outside, it is something that I must think about wherever I go in the future. And of course, especially for people on Iwagi living near Mt. Sekizen, safety is important.

Even though I have been on Iwagi for one year, I still find insects, plants, and new sights on Iwagi when I go for walks in the evening. As long as I am careful of wild boars, and any other dangerous animals, I hope that I (and everyone in Kamijima-cho) will be able to spend lots of time outside in this very lively season.

みなさん、こんにちは。岩城のALTのマイケルです。

日本で生活する上で非常に興味深いことの一つは、ここに住んでいる動物や虫たちについて学ぶことです。冬にはとても静かに思えたこの島も、夏を迎えて昼夜を問わず様々な音にあふれています。

アメリカにはいないたくさんの虫が、岩城じゅうにいます。想像してみてください、見知らぬ土地に行って、今まで見たことのない新しい虫に出会うことを。それこそがまさに今の私です。不思議な色の大きな虫がいます。しかも飛べるアリまで！私は今までにアリが飛ぶのを見たことがありません。岩城に当たり前のようにいる虫たちは、一度も見たことのないものばかりでした。

屋外での一番の関心事は何の動物が人間にとって危険かと言うことです。去年の5月に大学を卒業した後、私は1ヶ月半ほどアメリカのニュー・メキシコに住んでいました。そこには、毒を持つガラガラヘビが普通にいました。そこではいつも地面をよく見ている必要がありました。なぜなら、ガラガラヘビは陰や木の下に隠れていることがよくあるからです。もしガラガラヘビにかまれると、人間は死ぬことさえあります。

岩城で危険な動物と言えば、やはりイノシシでしょう。彼らは危険です。でも岩城の人たちの話から察するに、イノシシが人を死なせてしまう可能性はほとんどなさそうです。このことはもちろん知っておくべきです。それでも人は注意しないといけません。何と云ってもすごい数いるのですから。

私は岩城の出身ではないのでイノシシについてあまり知りません。まだどう注意していればよいのかもわかりません。しかしニュー・メキシコのガラガラヘビに関して言えば、身の安全を守るためにもっとも役に立つ道具は、何とカメラなのです。理由を説明しましょう。毒ヘビが人を噛むと、毒が身体の中に入ります。ガラガラヘビのタイプによって、その毒のタイプは微妙に違います。だからニュー・メキシコでは、毒ヘビに噛まれてしまったら、ヘビの写真を撮っておくようにと言われます。そうしておけば、病院に着いて医師にその写真を見せ、適切な処置をしてもらえる、ということなのです。

岩城の人たちはどうやってイノシシから身を守っているのでしょうか。もちろんイノシシと毒ヘビは違います。しかし危険な動物には、注意しないといけません。もし私がイノシシに出会ったらどうしたらいいのかと、岩城の人に尋ねたことがあります。そのとき、『逃げる』『それと関わらない』ことだと教えてもらいました。しかしこれは『私』がイノシシに出会ったときのことです。庭や家を守ることにしてはどうなのでしょう。あるいは、もし子どもがイノシシに出会ったら、その子はどうすればいいのでしょうか。私が育った場所は田舎ではありませんでした。だからこのような質問には実にわくわくしてきます。動物について心配しすぎてはいけません。それは確かです。しかし私は、自然が好きで、屋外で過ごすことも大好きなので、このことは、将来どこに行っても考えておくべきことです。そしてもちろん特に積善山の近くに住んでいる人々にとっては、安全が重要です。

岩城で暮らし始めて1年、夕方散歩している中、今でも虫、植物、新しい岩城の景色に出会うことがあります。イノシシや他の危険な生物に気をつけながら、私も上島町のみなさんも、この生き生きとした季節を外でたくさん楽しめよう願っています。



ALTコーナー英文音声ファイルURL

<https://soundcloud.com/kouhou-kamijima>

こんにちは
町長です



毎年開催している「まちづくり懇談会」が、九月からスタートします。

この会の目的は、直接町民の皆様の声を聞かせていただくことであり、堅苦しい行政協議の場ではありませんので、お気軽に誰でもご参加下さい。行政側も以前の課長、副町長、町長と少数に絞っていましたので、様々な事について発言、質問し易い雰囲気になっていきます。

役場の各担当課も平素より、住民の皆様に寄り添う形で行政運営に努めています。地域の課題などは、地元の方が一番肌身に感じておられることから、私達が見過ごしている点を教えていただければ、より良い上島町を創る事ができます。実績として毎年平均五千万円程の要望事項実現に結びついています。

もちろん、どのような話でも結構です。例えば、町長とは直接話をしたことがないから、町長はどんなだけの訛りで話すのか聞いてやろう、というだけでも大歓迎です。

町民の代表者である議員の皆様とは定期的に協議をする場がありますが、普段、お会いする機会が少ない町民の皆様のお顔を拝見しながら、上島町の現状のみならず、将来の夢を語り合うことも楽しみにしています。

お忙しいとは思いますが、「明るい上島町」を創るため、まちづくり懇談会へ足を運んでいただきますようお願い申し上げます。

上島町長 上村俊之